

「改革ねりま」のこれから ～時代を先取りした、

練馬区独立70周年 未来に向けた夢のあるまちづくりを推進

平成29年度主な事業

I 子育て支援

- ・練馬こども園をさらに拡大
- ・0～2歳に特化した認可保育所等4か所を整備(240人定員拡大)
- ・保育料増収を活用し、幼稚園入園料・認証保育所保育料補助を充実、ひとり親世帯等の負担軽減を拡充
- ・都の児童相談センターとの連携強化！ずっと・もっと・ほっと事業を開始
- ・ひとり親家庭自立応援プロジェクトを開始

II 福祉医療

- ・高齢者相談センターを25か所の地域包括支援センターに再編
- ・街かどケアカフェを8か所で開始(合計9か所に)
- ・関越道高架下を活用し、はつらつセンター大泉を開設
- ・特別養護老人ホーム2施設を開設(合計29か所に)
- ・介護用サポートウェアを約150事業所に配布
- ・生活福祉課を設置、ケースワーカーを12名増員し自立支援を強化
- ・順天堂練馬病院90床増床へ増築・改修
- ・練馬光が丘病院の移転改築へ基本構想を策定
- ・「ねりま健育会病院」開院、「浩生会スズキ病院」ケア病床開設
- ・小学校や学童クラブに看護師を配置し医療ケアが必要な児童を支援
- ・重度障害者グループホーム整備へ支援拡充を検討
- ・看護師等を配置した障害者グループホームの人件費を補助
- ・スマートフォンを活用した健康管理アプリを提供し健康づくり応援

III 都市インフラ整備

- ・(仮称)都市のグランドデザイン策定に着手
- ・大江戸線延伸へ
基金10億円積み増し、(仮称)大泉学園町駅地域のまちづくりを推進
- ・第四次事業化計画に基づき都市計画道路の整備を促進
- ・無電柱化推進計画を策定、モデル事業を推進
- ・西武新宿線の立体化へ
促進大会を開催、外環の2整備促進・上石神井駅周辺まちづくりを推進
- ・空き家・「ごみ屋敷」対策へ区独自の条例を制定

IV 魅力を楽しめるまちづくり

- ・「果樹あるファーム」農園4か所の整備を支援、紹介冊子を発行
- ・「ねりマルシェ」を拡充、西武鉄道と連携して開催
- ・「清水山の森」「中里郷土の森緑地」が開園
- ・ユニバーサルフェスティバル(スポーツフェス・オーケストラ)を開催
- ・(仮称)練馬総合運動場公園を整備
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向け
(仮称) Nerima インターナショナルフェスティバル開催を検討
世界都市農業サミット開催準備を本格化
- ・シェアサイクルの社会実験を3駅周辺エリアで実施
- ・2か所目となる石神井観光案内所を開設
- ・無料Wi-Fiスポットを4か所に設置

V 区政改革～区民参加と協働～

- ・区独立70周年記念事業を実施(記念式典・花火フェスタ・真夏の第九・練馬薪能・独立記念パレードなど)
- ・区民協働事業「地域おこしプロジェクト」を開始

安心して
妊娠期から
子育てが
できるまちへ



夢や目標をもち、
困難を乗り越える
力を備えた子どもが
育つまちへ

地域を支える
駅周辺地区が
整備されたまちへ



住宅都市にふさわしい
自立分散型エネルギー
社会を実現する
まちへ

多様なニーズに
応じた教育・
保育サービスを
選択できるまちへ

すべての小学生が
安全で充実した
放課後を
過ごせるまちへ

大江戸線の延伸、
都市計画道路整備、
西武新宿線の連続立体
交差化が推進され、
夢のあるまちへ

水害・火災・
地震などの
災害に強いまちへ

モデルなき未知の
時代に挑み、将来を見通し
た改革を実行するまちへ

障害者が住み慣れた
地域で暮らし続けら
れるよう、地域支援
を受けられるまちへ

住み慣れた地域で
医療を
受けられるまちへ

練馬城址公園を
拠点ににぎわいの
あるまちへ

地域特性を活かし
中小企業や商店街
の魅力があふれる
まちへ

区の多彩な魅力を
風を感じながら
巡れるまちへ

高齢者が地域で
安心して暮らせる地域
包括ケアシステムが確
立したまちへ



だれもが
住み慣れた地域で安
心して暮らし
続けられるまちへ

区の魅力である
みどりが
あふれるまちへ



都市の中
にある「農」の
活きるまちへ

みどりの風吹くまちへ



平成29年度
練馬区 当初予算案
記者発表資料
平成29年1月25日

練馬区 区長室 広聴広報課
〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1
☎ 03-5984-2693
✉ KOCHOKOHO@city.nerima.tokyo.jp